

### ③ ボード下地 壁・直張り / 天井・直張り

#### ボード下地に張付施工（接着工法）に際して

木ねじ、スーパーフィニッシュネイル等を使用せず、ボード下地に張付施工する場合は、図5、図6の内容の他、P.9以降の内容も、よくお読み頂き、施工してください。

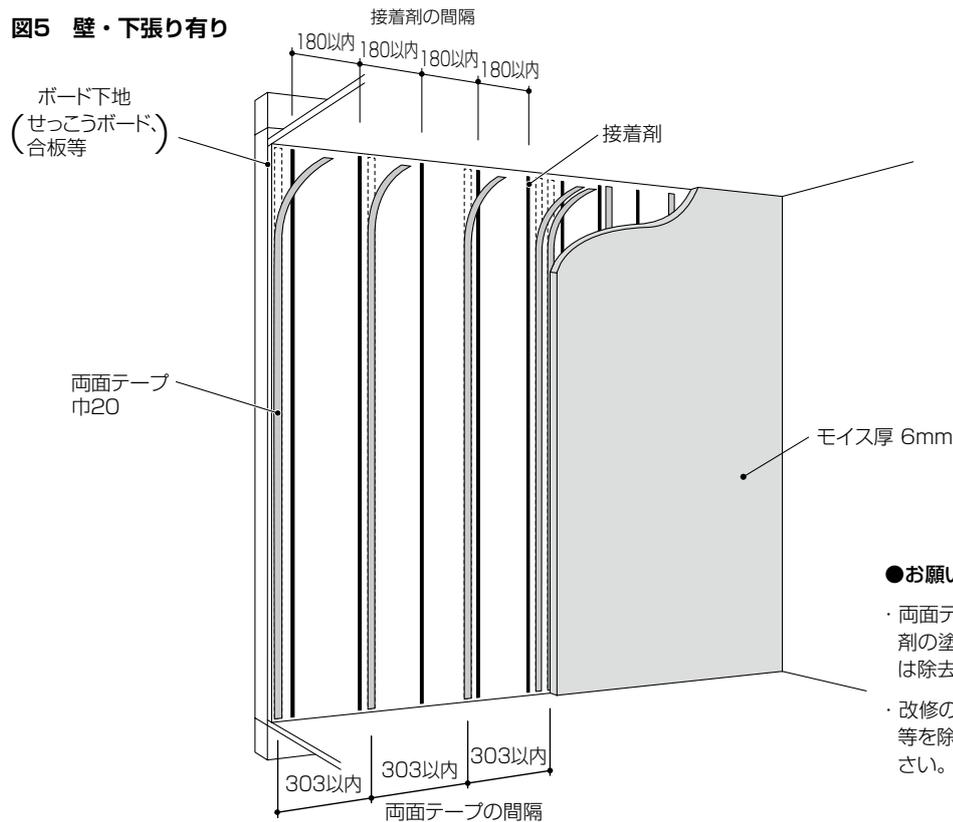
特に、天井面へのご使用やモイス自体へ荷重負荷がかかる場合、及び、吹き抜け等で高さ3mを超える場合の壁面へのご使用の場合は、下地面（せっこうボードを除く合板、ケイカル板等の下地の場合）、かつ、モイス裏面側に専用プライマーを塗布してから、施工してください。

※モイス裏面側にプライマーを塗布した場合、「調湿建材」対象外となります。

#### ③ボード下地

(単位：mm)

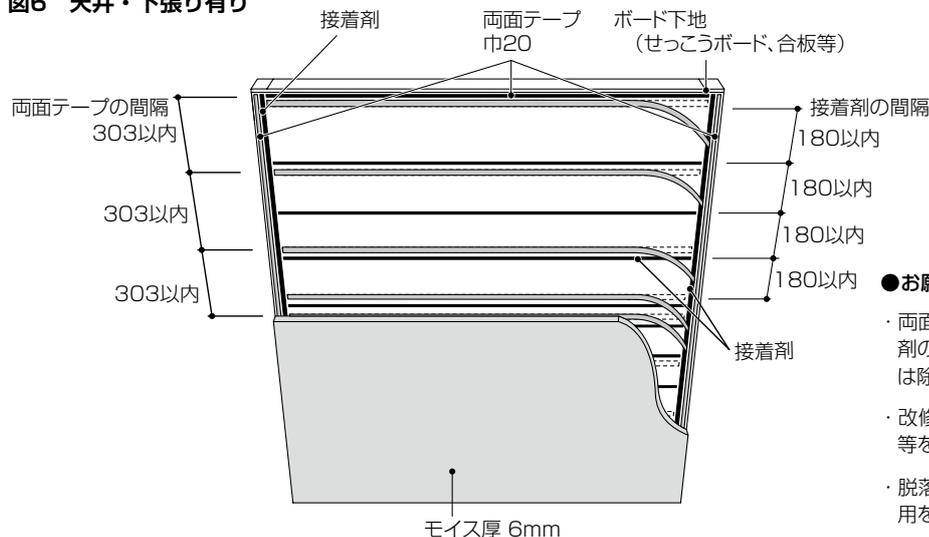
図5 壁・下張り有り



#### ●お願い

- ・両面テープの張付け面及び接着剤の塗布面のゴミ、埃（ほこり）は除去してください。
- ・改修の場合、既存ビニールクロス等を除去したうえで施工してください。

図6 天井・下張り有り



#### ●お願い

- ・両面テープの張付け面及び接着剤の塗布面のゴミ、埃（ほこり）は除去してください。
- ・改修の場合、既存ビニールクロス等を除去したうえで施工してください。
- ・脱落防止のために、ねじなどの併用をお勧めします。

- ・天井部は、下地面、かつ、モイス裏面側に専用プライマーを塗布してから、施工してください。
- ・プライマー、接着剤、両面テープについては、P.5を参照ください。
- ・合板ベニヤ等の木質系ボードの場合は、スーパーフィニッシュネイルでの留め付けが可能です。

※天井施工は、荷重を軽減するため、t6mm 限定（t9.5mm は使用不可）とし、かつ、1枚のサイズも3'×6' / 枚以下としてください。

# ③ ボード下地 壁・直張り / 天井・直張り

## ボード下地に張付施工(接着工法)の施工方法

### 1 割付け・プライマー下地処理

下記の注意事項を遵守して割付け・下地処理を行ってください。

#### 割付け時の 注意点

- 下地材の目地とモイスNT内装材の目地が重ならないように、割付けてください。

#### 下地材が、合板、ケイカル板等の場合

モイスを張付ける部分の全面に、予め、プライマー(JW-900NまたはRA-900)を塗布してください。  
また、モイスを天井面へ張る場合やモイス自体へ荷重負荷がかかる場合、及び、吹き抜け等で高さ3mを超える場合の壁面へのご使用の場合は、下地面(合板・ケイカル板等)、かつ、モイス裏面側にもプライマーを塗布してください。  
※モイス裏面側にプライマー塗布した場合、「調湿建材」対象外となります。

施工部位	壁		天井	
	下地材種類	合板、ケイカル板等	下地材種類	合板、ケイカル板等
プライマー塗布面	せつこうボード	合板、ケイカル板等	せつこうボード	合板、ケイカル板等
モイス裏面側	不要		○プライマー塗布	
下地材側	不要	○プライマー塗布	不要	○プライマー塗布

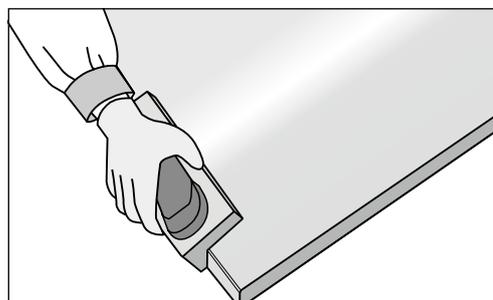
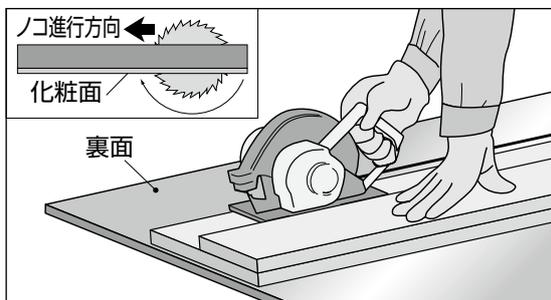
- 標準施工量:JW-900N  
・せつこうボード下地の場合(モイス裏面側のみ塗布): 6~8枚(3×8サイズ)/1kg缶  
・合板、ケイカル板下地等の場合(下地材側+モイス裏面側塗布): 3~4枚(3×8サイズ)/1kg缶
- 標準施工量:RA-900  
・せつこうボード下地の場合(モイス裏面側のみ塗布): 18~20枚(3×8サイズ)/2kgポリ容器  
・合板、ケイカル板下地等の場合(下地材側+モイス裏面側塗布): 9~10枚(3×8サイズ)/2kgポリ容器

#### ご注意

- プライマー(アイカ アイボン JW-900N、RA-900)は薄めずに、そのままご使用ください。
- プライマー(アイカ アイボン JW-900N:溶剤系)塗布後、**4時間以上7日以内**にモイスを貼付けてください。  
JW-900Nはトルエン・キシレンを含んでおりませんが、ご使用の際には十分に換気を行ってください。
- プライマー(アイカ アイボン RA-900:水系)は、冬期24時間、春秋期12時間、夏期6時間以上を目安に乾燥させてから7日以内にモイスを貼付けてください。環境により乾燥状況が異なりますので、必ず乾いた事を確認してから、次の工程へ進んでください。  
※ 5℃以上でご使用ください。

### 2 モイスNTのカット・加工 (接着工法 以外も共通)

下記の注意事項を遵守してカットしてください。



#### カットする時の 注意点

- 切断は当木を用いて、必ず刃物を裏面から入れてください。
- 割れやすいため、取り扱いには充分ご注意ください。
- 表面は、マスキングフィルムで保護しておりません。キズ・打跡には充分ご注意ください。

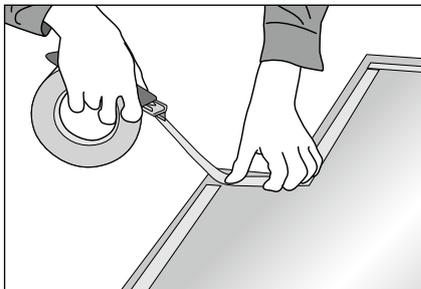
#### 面取り方法

- カット面は面取りカンナを使用し面取りしてください。
- 目透かし納めの場合、カットしていない面も面取りしてください。

# ③ ボード下地 壁・直張り / 天井・直張り

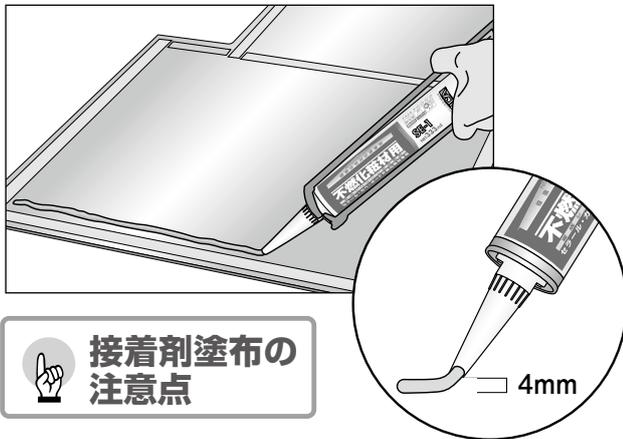
## 3 仮留めテープ貼付・接着剤塗布

下記の注意事項を遵守して、仮留めテープ貼付・接着剤塗布を行ってください。



### テープ貼付の 注意点

- 貼付けたテープをよく押えて、しっかりと圧着してください。
- 一度はがれた両面テープは再使用せず、必ず新しい両面テープを使用してください。



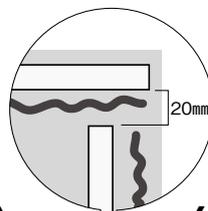
### 接着剤塗布の 注意点

- 接着剤は高さ4mmで塗布してください。
- モイス 3尺×8尺(壁面)1枚に対して、専用接着剤(GS-330)を0.5本が目安の塗布量です。  
塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

### 〈専用接着剤使用時のご注意〉

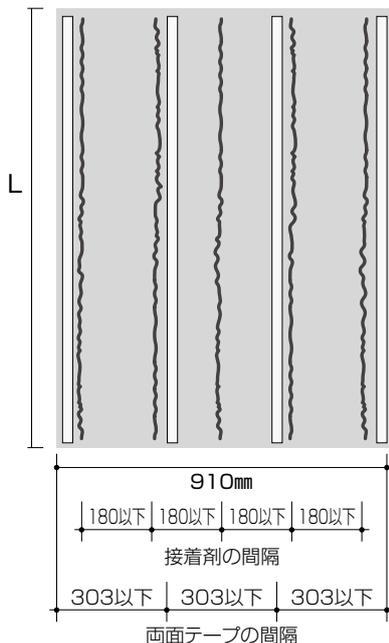
気温が5℃以下の場合には**施工できません**。

## 【標準塗布パターン】

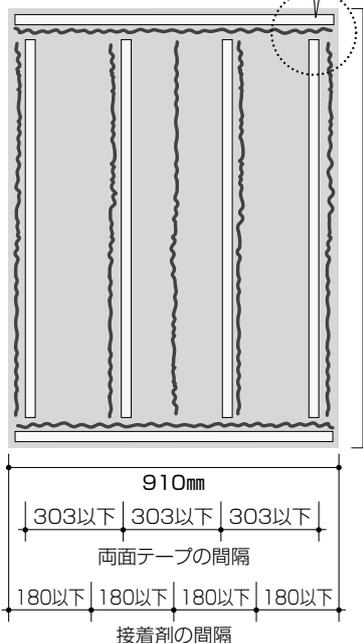


天井施工の場合は図の箇所の仮留めテープは20mmを開けて施工してください。

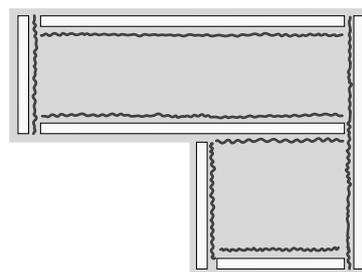
### 〈壁面施工〉



### 〈天井面施工〉



### 〈切り欠き〉



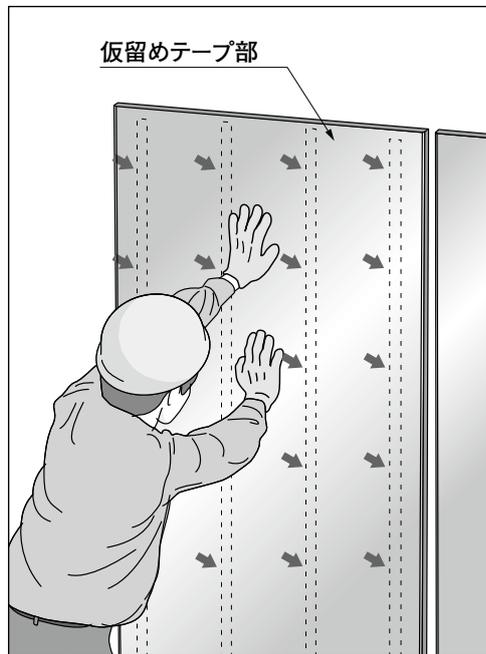
- 天井施工の際は、接着剤の塗布量を遵守し、圧縮を十分に行ってください。
- 天井施工の際はアルミハット型ジョイナーの併用をおすすめします。
- 天井施工は、荷重を軽減するため、t6mm(t9.5mmは使用不可)とし、かつ、1枚のサイズも3×6以下としてください。
- 天井施工は、脱落防止のために、ねじなどの併用固定をおすすめします。

・壁面と天井面とでは、両面テープと接着剤の位置が異なります。

## ③ ボード下地 壁・直張り / 天井・直張り

### 4 貼付・圧着

下記の注意事項を遵守して貼付・圧着を行ってください。



#### 貼付時の 注意点

- モイスを貼付ける際に、中央部に**浮き**が発生しないように注意してください。
- ※仮留めテープが壁面に一度接着すると、調整ができなくなります。

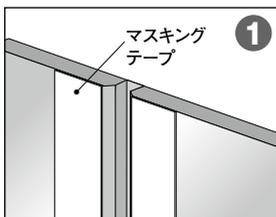


#### 圧着する時の 注意点

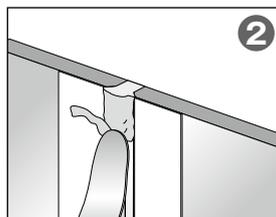
- 仮留めテープ部**をしっかりと押さえてください。
- ※接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。

### 5 シーリング

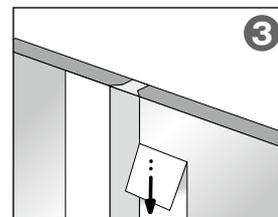
下記の手順に従ってシーリングを行ってください。(シリコン納まりの場合)



マス킹テープを貼り付け、奥までしっかりとシリコンを注入する。



ヘラなどを用いて、余分なシリコンをかき取る。



マス킹テープを**矢印の方向にゆっくりと**剥がす。